

fmo

FAST MEMBER ORGANIZER

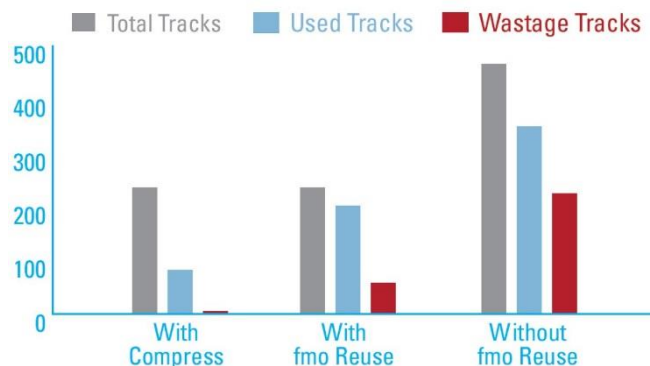
FMO は、PDSFAST の PDS および DASD 管理機能を、未使用メンバーのアーカイブ、自動的なスペースの再利用、選択されたメンバーとデータセットへのアクセスの制御、選択されたメンバーへのアクセスと更新の SMF への記録、そして LLA の自動的な更新を使って、拡張します。FMO は PDS および PDSE のメンバー参照と更新をサポートします。

データセットの維持管理

DASD スペースへの要求の急激な増加について懸念される導入先、または PDSEs と関連している過度のオーバーヘッドを避けなければならない導入先は、FMO が提供する即時のそして継続中の節約を高く評価するでしょう。アーカイブは PDS のサイズを削減し、そしてディスク・スペースを節約します。前記の制御の恩恵は多くあります。例えば、メンバーが変更または追加される際の PDS の無駄なスペースを自動的に再利用することは、PDS がより徐々にサイズが拡大することを可能にし、完全な圧縮の必要性を削減し、そして長い間使用中で通常の圧縮の間は利用できない PDS の管理を簡素化します。

ユーザー・ベンチマーク

ベンチ・マークのために、一次スペース 375 トラックで 3390 に割振られた PDS へ、850 個のメンバーが追加され、無作為に、450 個が削除された。



FMO のスペース再利用

オンザフライの圧縮のように、無駄なスペースと実際の圧縮処理のニーズを削減します。

改善されたシステム・パフォーマンス

FMO は、メンバーの利用を追跡しそして長い間使用されていないメンバーのアーカイブによって、DASD の利用を飛躍的に削減します。以前に使用されたスペースを利用可能にするだけではなく、システム全体および個々のジョブおよび TSO のパフォーマンスを改善します。FMO は、メンバーを見付ける場合に検索されるより小さい PDS ディレクトリーの状態により、およびシステム管理ユーティリティーがより小さなデータセットを取り扱う状態により、これらのパフォーマンスの改善を成します。例えば、FMO のアーカイブ前に、高い割合の非アクティブ・データを含んでいた夜ごとのバックアップが、その後、非常により高速になります。

アクセスと監査の管理

FMO の使用監視機能を使って、導入先はメンバー・アクセスの「誰、方法、そして何時」を追跡できます。この機能は、システムのパフォーマンスを改善するために、(ベンダー製品についての) メンバーへのアクセスのチャージバックを提供するために、そしてメンバー参照の監査証跡を維持するために使用できます。FMO はまた選択されたメンバーとデータセットへのアクセスと更新を制御できます、そしてそれは通常利用できないセキュリティー・レベルを提供します。この制御機能の一部として、そのアクセスが許可されたかまたは拒否されたか否かだけでなく、FMO はアクセスと更新情報も SMF に任意に記録できます。またはそれは操作員コンソールへ WTO を発行できます。さらに、FMO はライブラリー・ルックアサイド機能 (LLA) によって管理されているデータセットの、更新されたおよび新しく追加されたメンバーについて、即時のアクセス可能性とデータの整合性を確実にすることができます。

FMO テクニカル・サマリー

FMO は、最小限度のオーバーヘッドを必要とします。そしてユーザー・データまたはプログラムへの修正は必要ありません。FMO は完全に新しいバックアップ・システムが作成されることを必要としません。しかし代わりに既存のデータ・センターのバックアップおよび移行プロシージャと、途切れなく調和します。

FMO により作成されたアーカイブ・ファイルは、HSM により移行できる選択可能な SMS 管理グループに、テープまたはディスクのユーザー指定の場所に直接に標準の PDSFAST (IEBCOPY 互換) アンロード・ファイルとして保管されます。アーカイブされたメンバーの名前と場所は、FMO カタログに保持されます。非アクティブのメンバーによって以前に使用されていたメンバーとディレクトリーのスペースは、その後その PDS の他のメンバー、またはそのボリューム上の他のデータセットのいずれかに利用可能になります。後日必要に応じて、アーカイブされたメンバーは、ISPF 下の FMO リストア機能または PDSFAST 自身のいずれかを使用して、簡単に復元できます。

FMO の機能

- 未使用メンバーのアーカイブ
- 圧縮を使用して PDS の無駄なスペースを再利用
- PDS の未使用のディレクトリー・ブロックを再利用
- PDS の再割り振りを通して、ボリュームの無駄なスペースを再利用
- アーカイブ・パラメーターのユーザー・カスタマイゼーションをサポート
- 自動的なスペースの再利用
- インテリジェントなスペース再利用は、置換の他に追加をサポート
- PDS の圧縮の必要性を削減し、その結果 PDS の可用性を増大
- 利用の監視
- アプリケーション、データセット名、メンバー名別などに参照を監視
- 費用効率が高い DASD 管理およびキャパシティー計画のために必要な情報を提供
- メンバー・ベルでリアルタイムに自動的な LLA の更新
- 読みやすいレポート (例えば、データセットおよびボリューム別に未参照のメンバー、アーカイブされたメンバーなど)

FMO のオペレーション

FMO は 2 つの主要コンポーネントで構成されます：FMO スーパーバイザーと FMO エージェント。

FMO スーパーバイザーは、システム IPL 時に通常は開始される継続的に稼動しているタスクです。FMO スーパーバイザーは、BLDL (メンバーを検索)、STOW (メンバーを更新) SVC コール、および DESERV コールをインターセプトすることによって、選択されたデータセットについての PDS および PDSE メンバーの参照と更新を追跡します。FMO スーパーバイザーはジャーナルを維持できます。そしてそれは選択されたデータセットへの追加のメンバー参照が検出される時に更新されます。FMO エージェントはバッチ・ジョブです。そしてそれは、ユーザー指定の制御ステートメントおよび FMO ジャーナルにスーパーバイザーによって記録された情報に基づいて、メンバー・アーカイブ処理を実際に行います。アーカイブのために選択されたすべてのメンバーについて、エージェントは指定されたデータセット名、ボリューム、装置などへの PDSFAST アンロードを実施します。そして次に (任意に) アーカイブされたメンバーを削除し、そしてそのデータセットを圧縮または再割り振り、またはそのディレクトリー・サイズを変更します。その結果、非アクティブなデータによって占有されていたメンバーとディレクトリー・スペースを開放します。エージェントの LISTJOURNAL 要求は、FMO ジャーナル内の選択されたデータセットをリストします。

アーカイブされたメンバーとそれらの行き先のデータセットについての情報は、FMO アーカイブ・カタログに保管されます。オリジナルまたはアーカイブ・データセットのいずれかを選択している後続のエージェントの LISTCATALOG 要求は、アーカイブされたデータの記憶場所を示しているレポートを生成します。そしてそれは、必要ならば、ISPF 下の FMO リストア機能または PDSFAST または IEBCOPY を使用してメンバーを復元できます。エージェントにより作成されるアーカイブ・データセット (すなわち、アーカイブされたメンバーを含んでいるデータセット) は、固有の DFSMS ストレージおよび/または管理クラスで指定できます、そしてそれはそれらを導入先によって要求されるように扱うことができます。

導入、ハードウェア/ソフトウェアの要件

FMO は 10 分たらずで導入できます。オペレーティング・システムへの変更は必要ありません。FMO は、あらゆる IBM z/OS で稼動できます。

SEA 社の FASTPACK を使って、無駄な DASD、CPU 時間、EXCP 回数、および経過時間を削減

SEA 社の fastPack は、5 つの最先端の DASD 管理ツールで構成されます。DSN およびボリューム・レベルについては、PDSFAST、FASTGENR、FASTVSAM および Fast Data Set Organizer (FDSO) が、超高速な DASD およびデータ管理ソリューションのスイートを構成します。その強力で柔軟性のあるレポート機能は、DASD サブシステムの導入先全体の視点での管理を提供します。そしてそれはニーズ (ボリューム、ストレージ・グループ、装置タイプ、プールなどで分類) へ調整することができます。

メンバー・レベルについては、Fast Member Organizer (FMO) が総合的な、使いやすい、高速なメンバー・レベルのモニタリングおよび管理ツールです。そしてそれは未参照の PDS メンバーのアーカイビングとディスク・スペースの再使用により、飛躍的に DASD スペースの消費を削減できます。

fastPack を使って、導入先は処理中のスペース不足状況から自動的に回復すること、大量の VSAM データをバックアップすること、ボリュームへの排他的アクセスを要求することなしに徐々にボリュームをデフラグすること、および多くの他の機能を実施することができます。

一日に何度も何度も呼び出される IBM ユーティリティ IDCAMS、IEBCOPY、および IEBGENER について透過的な置換のため、fastPack コンポーネントは大幅な資源の節約を実現できます。

fastPack と共に、SEA 社は、改善された自動化と管理を通して、最新のデータ・センターが DASD の投資を維持および最大化するだけでなく、システム・パフォーマンスを改善し、20% まで DASD 容量を拡張し、そして DASD の持続的成長を伴うペースを保持することを、支援するために他にはない位置にいます。

SEA™

SOFTWARE ENGINEERING OF AMERICA

All trademarks & copyrights are the property of their respective owners.

BROAD

株式会社 ブロード

東京：〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-30 Tel 03-6205-7463 (代表)

大阪：〒531-0071 大阪市北区豊崎 3-4-13 ショーレビル 6F Tel 06-6375-3775 (代表)

Email : broad@broad-corp.co.jp

URL : <http://www.broad-corp.co.jp>